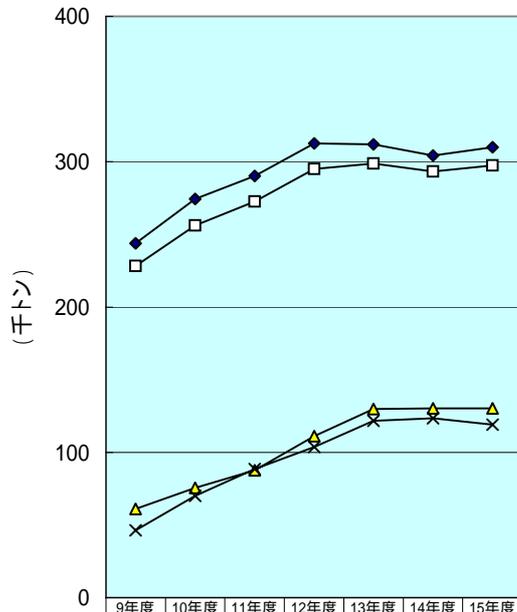


2. ガラスびん(茶色)

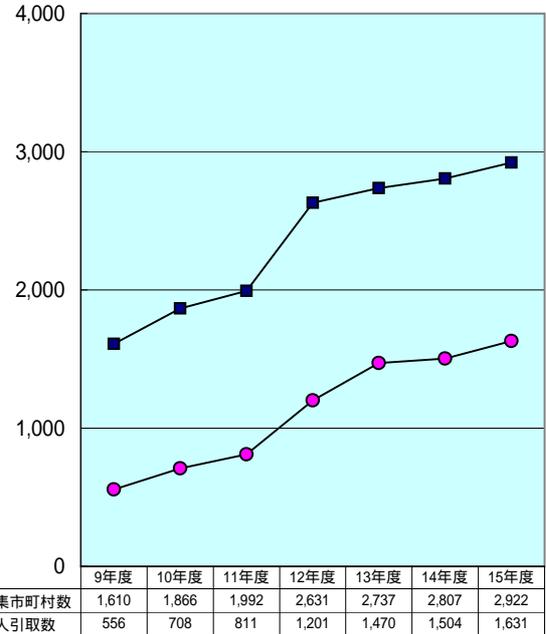
無色とほぼ同様の傾向を示しているが、無色よりも指定法人ルート割合が大きい。(平成9年度:27% 平成14年度:44%)

指定法人ルートで再商品化をする市町村数が無色よりも多い。

【再商品化量推移】

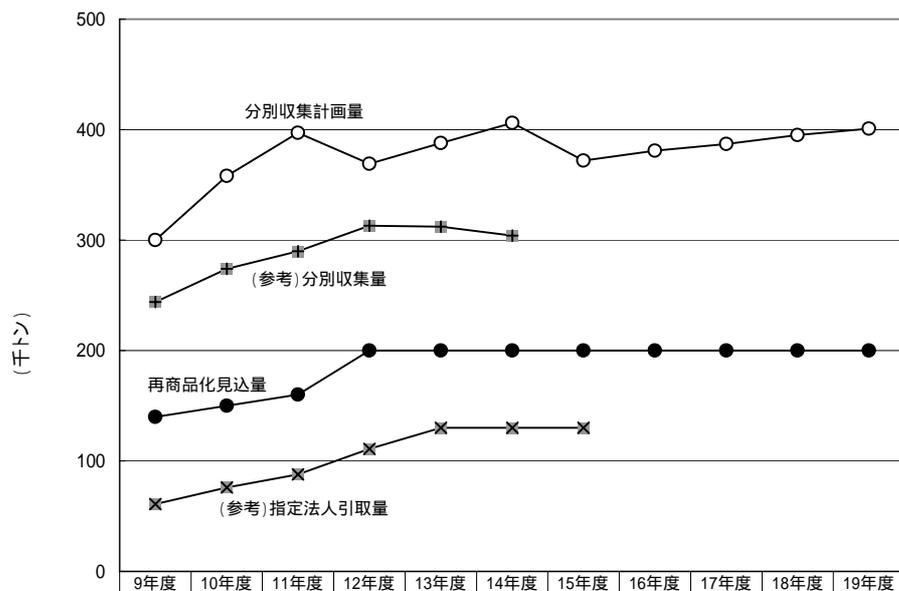


【実施市町村数推移】



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
市町村分別収集量	244	274	290	313	312	304	310
市町村再商品化量	228	256	273	295	299	293	298
指定法人引取量	61	76	88	111	130	130	130
指定法人製品販売量	46	70	89	104	122	123	119

(参考)再商品化見込量、分別収集量の推移



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
再商品化見込量	140	150	160	200	200	200	200	200	200	200	200
分別収集計画量	300	358	397	369	388	406	372	381	387	395	401
(参考)分別収集量	244	274	290	313	312	304					
(参考)指定法人引取量	61	76	88	111	130	130	130				